

なののはな だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **111**
October 2024

メディケアーやまゆり：運動会



INDEX

①
②
トレンドTOPIX 潮流
（ニュースウォッチ）

『介護生産性向上総合相談センター』
各都道府県による
目標達成に向けた取組が加速

フォーカス「老健ちば」

＜千葉県老健協会
千葉市部事務長会灘会長と
福田広報委員長の対談＞

＜事務長会＞

③
④
令和6年度
千葉県老人保健施設大会

⑤
⑥
＜研修会報告＞

自由気ままに
ペーパーブログ

＜旅客機の思い出＞

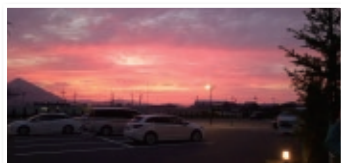
介護老人保健施設 エスボウル大原
施設長 明田川 修生

⑦
＜なののはなスマイル＞施設の笑顔紹介＜

● なぎさ

● 栗の郷

＜老健ちばカレンダー＞
（編集後記）



<http://www.chiba-roken.jp/>

2024年10月23日 発行

トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

介護分野における 生産性向上の取組の 支援・普及に向けた 事業の推進

ニュースウォッチ

『介護生産性向上総合相談センター』 各都道府県による目標達成に向けた取組が加速

改正介護保険法の施行により、都道府県の努力義務として介護現場の生産性向上の促進に向けた取組が求められるようになった。そのカギを握る都道府県の介護生産性向上総合相談センター（ワンストップ窓口）開設を支援するため、国は2023年度より、地域医療介護総合確保基金メニューとして都道府県支援のための「介護生産性向上推進総合事業」を始めた。国の策定したKPI（目標達成プロセスの進捗管理）では「26年度までに47都道府県でワンストップ窓口を開設済」としている。同窓口の設置状況について、本紙が5月下旬に実施した聞き取り取材では「今年度中（2025年3月末）までの開設予定」が31都道府県。そのうち、東京都や大阪府、愛知県など16都道府県はすでに開設済と回答した。目標達成に向けた取組が加速している。

介護生産性総合相談センターは、各都道府県に設置される「介護現場革新会議」（福祉関係者、中小企業支援や雇用、教育などの多様な関係者・有識者等で構成）の方針に基づき▽介護現場改革の相談・取組方針（計画）の策定支援▽介護助手採用などの業務仕分け支援▽介護施設現場に向いての伴走支援▽家族介護者を含む介護に関する講演・セミナーの定期開催▽介護ロボット・ICTな

どのテクノロジ―機器の紹介・展示体験・貸出など、介護現場・メーカーと各種団体・機関との橋渡し役が期待される。

介護ロボット・ICT普及促進にとどまらず、介護人材不足の解消・定着のための職場改革や、介護の仕事の魅力発信、腰痛予防や負担軽減のための福祉用具活用を含むテクノロジ―導入・定着のための伴走型支援などが構想されている。

（シルバー産業新聞 2024年6月17日 抜粋）

千葉県 介護業務効率アップセンター

【事業概要】

千葉県が設置する介護生産性向上総合相談センターで、介護事業所の業務改善における悩み事の相談や、現場職員の方々の負担軽減、業務効率アップを目的とする介護ロボット・ICT機器の導入等をサポートするワンストップ窓口

【主な事業】

- ・相談対応（介護事業所・開発企業）
- ・介護ロボット等の試用貸出
- ・情報発信
- ・体験展示会
- ・研修会・セミナー等の企画・運営

・伴走支援

○総合相談窓口

- ・業務改善手法に関する介護現場からの相談に対応
- ・業務改善方法の紹介や、介護ロボット製品情報、補助金・基金の紹介等を行う。

「業務のムリ・ムタ・ムラをなくしたい」「人が定着する職場にしたい」「最先端の機器を導入したい」「忙しすぎて人が辞めてしまふ」「記録をボタン二つで行い集計したい」「何かわからないがうまく行っていない、もっとうまくやりたい」などの相談に対応。

○使用貸出

- ・介護ロボット・ICT機器を試しに試してみたいという介護現場から、介護ロボット・ICT機器の試用貸出依頼を受付、企業へ取り次ぎを行う。

（千葉県介護業務効率アップセンター

ホームページ抜粋）



フォーカス 老健 ちば

千葉県老健協会 千葉市事務長会灘会長と 福田広報委員長の対談

「事務長会への想い」



総和苑 事務長
兼 武村内科医院 診療放射線技師
灘 和之 氏

福田…この度は、取材を快諾頂きましてありがとうございます。広報委員の打合せ時に「千葉市の事務長会だけは、年に3回程度開催されていて、凄いですね」と話題がありましたので、灘会長に取材させて頂きました。(ちなみに千葉県の老健会員施設は8圏域に分けられ、8支部あり、合計で133施設あります。)

質問①ここ2〜3年で千葉市事務長会だけが開催されていて、とても素晴らしい事を行われていると思っておりますが、何故、事務長会を率先して開催を行った方が良いとお考えですか？

会長…老健施設は、多岐にわたり戦略的に考えていく必要があると思います。とくに医療法人での運営が多い老健施設では法人税、固定資産税等を納める為、安定的な運営を行う上で、試行錯誤している老健施設も多いと思います。その中で、他施設の色々な情報を得る事は個々の施設の戦略を考えるには、とても有益になると思っています。千葉市事務長会の会議内容を簡単に説明しますと、主な議題は、稼働率、人材確保、人件費率及び薬品費等の経費や各施設で設定している実費等の金額、また介護報酬改定では、各施設の加算取得状況や、「どうしたらこの加算が取れるのか」「この加算を取るにあたっての注意点は」等を確認し、各施設ができるだけ多くの加算を取れるよう情報交換しています。

多くの情報を知りたいと思っているのはどこの施設の事務長さんと同じだと思っています。以上のことを踏まえて、私としては定期的に事務長会を開催していく必要があると考えています。

質問②千葉市事務長会の開催までの流れを教えてください。

会長…千葉市事務長会会長1名、副会長2名の役員3名が、会議開催の事前打合せをします。

各施設が今、何の情報を求めているのか等を検討した上で、議題やアンケートの作成及び集計、また、必要であれば千葉市介護保険事業課担当者や事務長会への参加の調整を行い、各施設に開催要項を送り、出欠を確認します。

質問③事務長会への想いは何ですか？

会長…平成13年に事務長に就き、老健について何も分からない私が右往左往していた時期、千葉市事務長会により他施設の情報共有し、多くの事を学ばせて頂きました。その流れを受け継ぐ事になり、微力ながら自分が協力する事で「定期的な開催までの流れを確立するお手伝いが出来るのでは？」との思いで会長職を引き受け今日に至っています。また事務長会を次の世代に承継していく事も大切な役割だと考えていて、これまで培ってきた事を次期会長に引継ぎ、「より充実した事務長会の継続」を託していきたいと思っています。

質問④千葉市事務長会会長が考える事務長会の展望

会長…可能であれば、圏域毎に事務長会を開催して情報を収集し、圏域代表の事務長さん同士で情報交換を行う事ができる等の仕組みを構築すれば、千葉県内全ての老健施設に有意義な情報を提供出来るのではと思っています。

福田…今回、その他7圏域の方々に灘会長のような行動を起こして頂く方が一人でも増えて頂けたら会長が想い描く、圏域代表の事務長会が開かれるかもしれないですね。灘会長、お忙しい中、対談にお付き合ひ下さいまして、誠にありがとうございました。

事務長会

令和6年9月20日ポートプラザ千葉にて、千葉県老人保健施設協会の事務長会

が開催されました。(写真①)

参加施設36施設で合計38名が参加。最初は、千葉県健康福祉部障害福祉事業課療育支援班の樋口氏から医療型短期入所の説明があり、事業受託会社の株式会社医療経営研究所の鈴木氏より詳細の説明があった。気になる点は、短期入所療養介護と医療型短期入所事業の収入を比較して、もし7日間利用の場合、短期入所は約9万円で、医療型短期入所は21万円と差があった。入所率が下がっている施設は確認したい。

次に全老健共済会の田邊氏による賠償事故・示唆交渉支援サービスの新設と活用についての説明があった訴訟対応の前段階で示談支援が可能になり、早期円満解決を目指し50万円を上限に入院費・通院費をお支払いが可能との事。

次に社会保険労務士法人ネクステップ代表社員の山崎氏による介護施設管理者向けのハラスメント全般の防止研修を行った。

ハラスメントは身近な出来事起こり得る問題。上司と部下。男性と女性。年配者と年少者。もし、あなたがハラスメントの行為者になって訴訟問題になってしまったらあなただけでなく組織にも多大な影響があると山崎氏は言う。

山崎氏の講義後30分程度、圏域毎の意見交換を行った。(写真②)今回は千葉県老健協会の事務長会は実りある会だったと感じた。



写真①



写真②

令和6年度 千葉県老人保健施設大会

in ポートプラザちば

令和6年9月13日(金)、ポートプラザちばにて行われました。今年度より、以前行っていた「最優秀賞」、「優秀賞」の授賞式も復活し、少しずつコロナ禍前の雰囲気に戻りつつある大会になりました。

協会副会長の武田様のご挨拶、総司会の大和田研修委員長のオリエンテーション後、午前2グループ8演題、午後2グループ8演題の計16演題の発表がありました。

(誌上発表1演題も含め17演題と昨年より増)

さらに表彰式では、「審査員特別賞」が急遽創設されるというサプライズもありました。



武田副会長の挨拶



大和田総司会



発表風景



賞状と
トロフィー



表彰式

表彰式

皆さん 発表ありがとうございました！

発表者の皆さんにコメントをいただきました

- ①発表を終え、受賞後の感想
- ②今回のテーマを選んだ理由
- ③取り組みを通じての感想
(良かった事や大変だった事、今後の抱負など)

最優秀賞



古川美樹さん
(言語聴覚士)



テーマ

ハートケア市川

いつまでも安全な食事を！
～食事改革～

①長期にわたり行ってきた取り組みだった為、最後にこのような評価をして頂き、大変嬉しく思います。

②当施設では、年々嚥下面にハンデを持った方や認知症者が増え、個別対応が増加していました。更に、低栄養者が増加して栄養補助食品の持出しが激増していく状態でした。そこで、ご利用者様も機能・栄養回復ができ、施設もスマートな体制作りができないか、考える必要があった為です。

③ソフト食を追加した食形態の改訂、そしてパン粥という少量高カロリー食の積極的導入により栄養補助食品の使用も減りました。他職種と連携しながら取り組めた事が、施設にとっても良い機会であったと感じております。今後も、安全な食事を提供し、美味しく食べて頂けるよう努めて参ります。

優秀賞



千葉徳洲苑

掛川悟さん(介護福祉士)

テーマ

地域高齢者の介護予防活動を通してみてきたもの
～高齢化率が高くても健康寿命が長い地域に～

- ①このような賞を頂き、嬉しく思います。
- ②元々、船橋市の大穴地区は高齢化率が高いにもかかわらず、地域活動が活発であり、介護申請の割合は少ない地域でした。新型コロナウイルスの影響を受け、活動が縮小した頃から当苑のデイケアに通う大穴地区の高齢者が増えたことで、介護予防の必要性を感じたことがきっかけです。
- ③私たちがサービス提供しているご利用者様はごく一部の方であり、施設の外に出ると多くの高齢者が存在していることが分かりました。今年度より、ミニデイサービスに加えて、地域の買い物難民を救済する為、買い物送迎サービスを開始しています。今後も地域貢献活動には力を入れていきたいです。

優秀賞



ハートケア流山

中村悟さん(介護福祉士)
(写真右前)

テーマ

ICTを活用した余暇活動の向上
～余暇から生まれるグッドサイクル～

- ①ICTの活用は、業務の効率化を図る上で重要課題と考えております。荣誉ある賞を受賞し、一段と身の引き締まる思いであると共に今後の業務へのモチベーションアップへと繋がりました。
- ②今年度から、電子機器の導入による新たな変換点を機に、ICTの活用方法を模索していこうと考えました。
- ③ICT導入にあたり、負担をどのように軽減して進めていくか工夫する事に苦慮致しましたが、最終的にはご利用者様からの喜びの声を頂きました。職員の意欲向上にもつながったと感じております。今後も業務改善へ取り組んでいき、ご利用者様のケアの質向上に向け邁進していく所存です。

審査員特別賞



夢プラスワン

高柳仁人さん(理学療法士)

テーマ

多施設連携による地域への取り組み
～香取市リハビリテーション協議会が取り組む
地域リハビリテーション活動支援事業の紹介～

- ①老健職員という立場だけでなく、香取市リハビリテーション協議会の一員という立場も含めた気持ちで発表しました。受賞することができたのは、職場・協議会の皆様のご協力のお陰だと思っています。
- ②施設では多職種連携を大切に業務に取り組んでいますが、今回は他施設連携・行政との連携という、より大きな連携で一定の効果が得られた為、テーマとして採り上げました。
- ③地域リハビリテーション活動支援事業の直接参加は、今年からという新参者でしたが、制度の中の位置づけ、これまでの経緯、現状など、理解を深める良い機会になりました。これからも「地域に根ざした施設」という老健の理念と役割を全うしていきたいと思っています。

基調講演(ZOOM)

「令和6年能登半島地震」 発災・被災・そして現在の状況

石川県老人保健施設協議会
全国老人保健施設協会石川県支部

本年1月1日に発生した、能登半島地震の被害状況について、石川支部の状況を伺いました。甚大な被害を受けた能登地域に向け、全老健と連携した支援に次いで、再建の目途が立たない現状についてお話がありました。会場には緊張感が走り、多くの参加者が災害対策について、再考する好機を得ました。



医療法人社団仁智会
金沢春日ケアセンター
総務部長 中嶋 頭一 氏

※当協会HPに当日の資料を掲載中。
ぜひご覧ください! ▶



研・修・会・報・告

認知症研修会

令和6年7月26日にポートプラザちばにて認知症研修会を開催致しました。

認知症の研修ともあり、37施設38名の介護職員をはじめとした様々な職種の方が参加されました。

午前は「認知症の人の気持ち」～疾患と人、両面からのアプローチ～と題して、一般社団法人きらめき認知症トレーニング協



会代表理事であり、株式会社きらめき介護塾代表取締役の渡辺哲弘氏を講師に迎え、ご講義頂きました。

認知症の方の特徴を理解していく為の講義が進んでいく中で、認知症の方の気持ちを汲み取り安心につながる関わり方が内服薬よりも認知症の進行を遅らせることができるという内容が印象的でした。

また私たちの関わり方や環境の調整で、認知症の方の中核症状や周辺症状を緩和していけることを改めて学び、認知症の方の行動と気持ちを理解して関わっていきたいです。

午後は「VRを使い認知症をより理解しよう、体感しよう」と題して、株式会社シルバーウッドVR事業部より大野彩子氏を

講師に迎え、VRゴーグルを使用した新しい認知症体験と体験したことを共有するグループディスカッション形式で、ご講義を頂きました。



VRという形で認知症体験を行うことで、認知症の方の目線や気持ちを理解することができ

る素晴らしい研修と感じました。それぞれの参加者が認知症の方に関わり、ケアの悩みを抱える中、実体験に近い今回の研修は、認知症の方の理解を深め、どのようなケアに繋がっていくかを考え直す新しい視点での学びとなりました。

今回の研修で学んだことを、日々の実践で活かし、より良いケアを心がけていきたいと思っています。

参加者の感想

今回の研修を通じて、講義では介護職員として利用者様のかかわり方やご家族様へのアドバイス方法の引き出しを自分の中で増やすことが出来ました。

入社して3年目で先輩職員や上司の方からの経験談や知識を吸収し、自分なりに考えて行動してきましたが、勘違いして覚

えてしまっていたことやずれてしまっていた考え方に気づくなど、得るものが非常に多い研修でした。

印象に残っているのは「心身の状況に応じた介護」「人の気持ちを理解する、認知症（疾患）の特徴を理解する」という言葉です。どちらの理解も疎かにしてはいけないことを再度認識しました。また、VR研修の方では自分では体験できない未知の世界を体験できる貴重な機会を頂けて、とてもよかったです。特に、レバー小体型認知症の見える世界が印象に残っています。

研修で講師の方や他の参加者からもらったアドバイスを意識して、業務に取り組んでいきたいと考えています。

食事・摂食嚥下研修会

— 講師 —

介護老人保健施設 佐倉ホワイエ

言語聴覚士 平澤美枝子氏

2024年8月28日（水）ポートプラザ

ちばにおいて開催された、食事・摂食嚥下研修会の講師を担当させていただきました。一口から食事を摂り続けるために摂食嚥下リハビリテーションを多職種で考える」をテーマに、摂食嚥下リハビリテーションの基礎となる考え方や具体的な方法についての講義、実際の情報収集の要領で質問をしていただきながらの事例検討、摂食嚥下やその他老健に関わることについてワールドカフェ風にグループワークを行いました。

8年前の県老健主催の「高齢者の栄養と食事研修会」という研修会を担当させてい



ただいた時と比べると、特に事例検討では前回より多く具体的な質問をいただき、摂食嚥下の取り組みが浸透してきていることを感じました。チームで話し合った対策の内容の発表では、日頃の自分だけの考えでは見落としていた方法が挙がったり、同じように考えていることが分かったりして、一体感が得られたように思います。

研修会の準備やご質問を受ける中で、私自身が業務への慣れから感覚的に評価していたり見過ごしている情報があることも感じました。また、チームで取り組んでいるつもりでも、情報が伝わらなかつたり、用語の意味が職種によって少しずつ異なっていたりして、伝達の難しさも改めて感じました。

私にとっては久しぶりの対面の研修会で、緊張と勉強不足で説明しきれなかった部分も沢山ありましたが、参加された皆様にとって摂食嚥下リハビリテーションに取り組む手がかりが一つでもあれば幸いです。





先日、成田から中部セントレア空港を利用して、丹後半島の天橋立と福井県の三方五湖に行っていました。

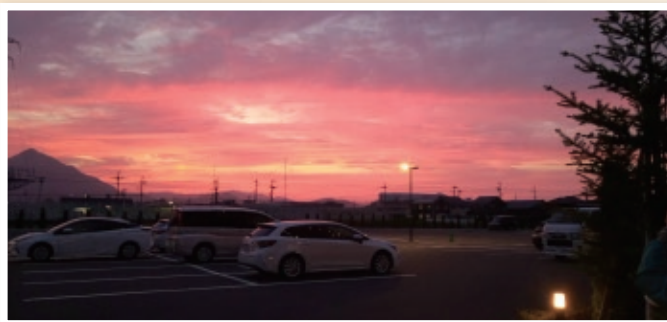
最近の飛行場はすべて様変わりしていて驚く事が多くあります。以前の飛行場には考えられない種類の旅客機が飛来してきています。旅客機を見たり写真を撮る為によく羽田飛行場近くの城南島海浜公園に、愛犬（秋田犬）を連れて通りました。

城南島は、飛行場に着陸する為に利用する航路の真下にあり、飛行機は脚を下ろし着陸態勢に入り、エンジン音を鳴り響かせ、迫力満点でした。ある日、滑走路上に尾翼に日の丸を付けたジャンボ機が駐機しているのを初めて見ました。あれはきつと、政府専用機で当時の首相がアメリカに向かうのではないかと気が付き、慌ててシャッターを切りました。当時月刊エアラインを読んだり、航空無線に興味を持って日



旅客機の思い出

介護老人保健施設 エスポワール大原 施設長 明田川 修生



頃より無線を聞くことが多く、航空機管制塔との通話を理解できるまでになりました。ある時、今は亡き義兄と一緒に聞く機会があり、まだ旅客機に関する情報も少ない時代だったので、義兄は非常に興味を示しました。義兄は以後日本でも有数の航空評論家になりました。

また、私がヨーロッパの学会に参加する時、義兄の口利きでフライト中に操縦室内に案内していただきました。多数のメーターの光が浮かび上がって見え、それは見事なものでした。その時窓からぼんやりした光の帯を見つけ、「オーロラではないか？」と質問したところ間違いないとの事でした。色のないオーロラもあるのだと感心しました。今では許されない事で貴重な経験でした。

今回の旅行でホテルに着いたとき、あまりに夕焼けが見事だったので思わずシャッターを切った1枚です。今後も年を重ねながら旅をして思い出を作っていきたいと思っています。

新車・中古車販売 新車の福祉車両はもちろん中古福祉車両もご用意しております！ パーソナル・ミニバン・トラック・バス	買取 大切なお車買取いたします。お車見直しだけでも対応いたします。車イス移動車、スロープタイプ、その他福祉車両もお持ちしております。	車検・点検 飯金・修理 一般の車はもちろん福祉車両の車検点検、飯金、修理も行っております。福祉車両ならではのシート部分やサイドステップ、車イス固定装置などの弊社のメンテナンスを行います。また、お車をお預かりする間は福祉車両の代車をお出しいたします。
リース 法人様向けに「定期リースメンテナンス」「福祉車両代車」をふくんだ福祉車両に特化したリースをご用意しています。その他、ファイナンスリース、保険付きなども承っております。	レンタカー 様々な車種の福祉車両レンタカーをご用意しています。1ヶ月以上の長期貸出もできます。	保険 自動車保険をはじめ、火災・盗難・傷害・賠償各種お取り扱いがございます。誠実・正直をモットーとし、お客様の困りごとにお応えします。

福祉車両のことなら

エンジニアス 株式会社

お気軽にお問い合わせください！

☎ 048-263-9180

FAX 048-263-3452

〒333-0848 埼玉県川口市芝下1-14-23

BCP・日常業務に業務用無線がお役に立ちます

**災害時の
避難誘導に**

**緊急連絡
手段として**

**簡単操作で
一斉通話**

業務用無線機・インカム・トランシーバー販売

関東電子株式会社

〒260-0022 千葉県中央区神明町5-15

☎ 0120-456-720

お気軽に
お問い合わせ
ください！

なのはな スマイル

明るく!

元気!

施設の笑顔をご紹介します!



■ なぎさ

千葉県最東端の銚子市に位置する介護老人保健施設なぎさは、平成11年に開設し、今年で25年目を迎える事が出来ました。現在、入所サービス、短期入所療養介護、通所リハビリを地域の皆様にご利用頂いております。隣接の診療所と連携を取り、ご利用者様一人一人により良い医療介護サービスの提供を目指し取り組んでおります。

住 所：銚子市松岸町4-778-55
電 話：0479-22-3712
開設日：平成11年5月21日
入 所：100名
通 所：20名



利用者様が日常生活を
楽しく過ごしていただけるよう、
親しさの中にも礼儀を大切に、
日々努めています。

介護福祉士
浅野 誠

■ 栗の郷

病院併設型施設が栗の郷の特色です。医療ケアの対応もすぐできるため、利用者様もご家族様も安心できる環境が整っています。

日常の健康管理はもちろん、利用者様の状態に合わせたリハビリを行い、在宅復帰等をスムーズに支援できるようにサポートしています。じつ「栗」丁寧な介護とリハビリで施設を「栗」エイトします。

住 所：四街道市栗山906-1
電 話：043-421-6881
開設日：平成11年10月29日
入 所：105名
(ショートステイ含む)
通 所：32名



併設病院より異動しました。
急性期での経験も活かし、
利用者様のどんな変化も見逃しません。
「明るく笑顔でポジティブに!」
愛あるリハビリで皆様の笑顔が
たくさん見られるよう頑張ります。

理学療法士 石川雄大



老健ちばカレンダー

暑すぎた日々もそろそろ終わりそうです。寒暖差による体調不良にお気を付け下さい。

リハビリ研修会が12月4日に決定しました。本年度残りの研修は3研修です。研修委員一同いい研修になるよう頑張ってます。

● 編集後記

- 9/13、研修委員の方にもご指導頂き、老健大会で初めての座長を務らせ、今ホッとしながらこの文章を書いております。他の座長の進行を見ながら、色々と自分の課題が即座に出てきた次第ですが(苦笑)。少しずつ自分の経験が増える事は非常にありがたい事であり、それを温かく見守ってくれる先輩方がいるこの環境で働ける幸せを感じております。さあ美味しいお酒を呑むぞ! (笑) (古田)
- 千葉県老人保健施設大会に行ってきました。石川県からZoomでの基調講演は皆皆筋が伸び、会場にはため息が漏れていました。まだまだ先が見えない能登の現状に胸を痛め帰宅しました。そして1週間後に豪雨災害のニュース。心を痛めています。(若林)
- 長い長い酷暑の夏が終わりましたが、夏の疲れがまだ抜けない私です。さて先月の老健大会で「令和6年能登半島地震の発災・被災・現在の状況」を報告していただきました。被災した施設の実際の写真や現場の生の声をお伝えいただき、改めて「他人ごとではない、明日は我が身」ということを実感しBCPの重要性を認識いたしました。大変な状況の中、今回報告してくださった金沢春日ケアセンターの中嶋総務部長、本当にありがとうございました。(坂本)

- 米不足が連日ニュースになっていましたが、千葉県は2023年米の収穫量が全国9位で、いすみ米、多古米、鴨川の長狭米など美味しいお米が沢山ありますよね。今年も美味しいお米が食べられること農家の皆さんに感謝です。(白石)
- 協会主催する研修は一年を通して様々な研修を開催していますが、今回は「認知症VR研修」を取り上げました。様々な認知症研修がある中でVR機器を用いた体験型研修は珍しく、今回の研修は参加の希望が多く、参加された方々からも好評頂きました。科学が進む事で、新しい視点での体験型の研修が増えてくると、より充実した時間の提供になるのではないかと思います。今年も残すところ僅かとなりますが、引き続きよろしくお願いします。(松戸)
- 今回、千葉市事務長会会長と対談をして感じた事は、「自分の施設だけの事を考えず、近隣の施設との未来、その先の千葉県老健協会の事務長会の行く末を念頭に入れた行動」という事が聞けて、私も見習いたいと感じました。編集後、船橋地区の方との話で、「船橋には船橋の老健協会があり、コロナ禍でも事務長会等様々な部会を行っている」と聞きました。このように誰かがけん引し、動く事で地域の連携に繋がる。これからも、その他の地域で誰かがけん引する人が増えたら良いな〜と心から望みます。(福田)